

郡役所はどこにあったのか

昨年「市報ぎょうだ」12月号で、奈良時代には市域で大規模な開発は行われなくなったと述べましたが、律令体制下で郡の政務の執務所となる郡家が設置され、中央と地方を結ぶ官道や郡家と郡家を結ぶ道路、河川の津（港）などの整備が、粛々と進められていたようです。

文献資料から群家には群司が政務を執る群

庁、収税物を収置する倉庫である正倉、群司の宿舎である館、役人の食事の調理場である

厨家、伝馬の厩舎、群雑人の宿舎、門、垣などが存在していたことが知られています。

市域周辺で郡家的な色彩の濃い遺跡としては、星宮地区の小敷田遺跡から熊谷市池上遺跡まで、それに近接する同市諏訪木遺跡、北島遺跡があります。小敷田・池上遺跡からは、整然と配置された倉庫と思われる大型掘立柱建物跡が発見され、「市報ぎょうだ」4月号で紹介した「出挙」の木簡などが出土しています。これらは、いずれも昨年の「市報ぎょうだ」10月号で紹介した



小敷田・池上遺跡の倉庫(推定復元図)

介した県内最大規模の条里であった行田・熊谷条里に面した遺跡で、条里を掌握していた拠点集落であったと思われる。

しかしながら、これらの遺跡は奈良時代の埼玉郡の北東端、大里郡、幡羅郡との郡境近くに位置しており、公の施設があった遺跡である可能性は高いものの、郡家としては地理的位置が偏り過ぎていように思われます。

埼玉郡の郡家については、市内埼玉地区に存在したとする説もあります。現時点では埼玉地区から太田地区に広がる小針遺跡が、郡家的な色彩の濃い遺跡として有力視されていますが不明確です。

市域では他に長野地区の馬場裏遺跡で、下級官人が身に付けていた腰帯の帯金具の一つである青銅製の丸軛が出土しており、役人がいたことが伺えます。しかしながら、同遺跡からは公の施設と思われるような建物跡などは現時点では発見されていません。

郡役所はいついたどこにあったのでしょうか。
(文化財保護課 中島洋一)

こせに ちゃんが 行く! with フラベス 福祉施設編

ぎょうだ 行田のぞみ園 えん

しっとりとした生地のパウンドケーキやサクサクのクッキーを作って、出張販売しているのが「行田のぞみ園」だよ。市役所や川島書店前などで販売しているから、知っている人も多いかもね。

この施設では、障がいを持った人がお菓子作りを通していろいろな技術を身に付け、就職できるようにサポートしているんだ。また、保育部門もあって、利用者の皆さんは幼児たちとふれあうことでコミュニケーション能力も向上してるんだって。すごいよね。

普通のお店以上の味を目指しているだけあって、こだわりの原材料を使い、心を込めて作ったお菓子は絶品だよ。販売場所は、「行田のぞみ園ブログ」(<http://gyodanozomi.hatenablog.jp/>)でチェックしてみてね。新商品も開発中だから今から楽しみ〜。

【住所】緑町13-31 【電話番号】553-3102



このコーナーで紹介する施設を募集していますので、希望される場合は広報広聴課までご連絡ください。

今月の表紙

4月5日、第31回鉄剣マラソン大会が開催されました。ハーフの部、10キロメートルの部など4部門に総勢2,978人のランナーが参加。古代蓮の里をスタートした選手たちは、桜や菜の花が咲き誇る景色を眺めながら、春の行田のまちを走り抜けていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています